

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 心房細動における Cardio-Ankle Vascular Index(CAVI)と左房機能との関連』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 講師 中村 啓二郎

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院循環器内科ではカテーテルアブレーション治療を受けた心房細動患者様を対象に、動脈硬化指標に用いられる血圧脈波検査での心臓足首血管指数 Cardio-Ankle Vascular Index(CAVI)と、心臓超音波検査画像から解析できる左房ストレイン(左房の歪み)との関連を検証することで、心房細動患者様の心房機能における動脈硬化の重症度(Arterial Stiffness)の影響を明らかにし、心房の電氣的・構造的および収縮性の変化(心房リモデリング)の進展機序を解明するために本研究を計画しました。簡便な非侵襲的検査で心房の不整脈素因や心房の線維化を術前に推察でき、早期介入を含めた包括的治療の導入など心房細動診療の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2016年6月～2021年1月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

において、心房細動の診断でカテーテルアブレーション治療を受けた約 500 名の患者様

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

カテーテルアブレーション治療の患者様の年齢、性別、身長、体重、術前に行った心臓超音波検査や胸部 CT 検査のデータより心房容積を評価する。他、CAVI や術前に採取されている血液データとしてクレアチニンや NT-pro BNP、また、3D マッピングシステムを用いて測定された心房の異常低電位領域(low voltage area)等のデータなど

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

研究代表医師:中村 啓二郎 役職:講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 講師 中村 啓二郎

電話 03-3468-1251 内線 7125